

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	5 管理運営と施設支援
中項目	
小項目	5.0.1 管理運営
要素	「教育研究上の目的」の達成のために必要な管理運営事項を審議する教授会及び委員会等を設置し、審議事項を尊重し、教育研究環境を整備していく体制を講じているか。 設置形態及び規模に応じた管理運営の事務組織を整備しているか。 「教育研究上の目的」の達成のために、専任教員の教育研究活動に応じた規模と機能を持った管理運営組織を設けているか。
小項目	5.0.2 施設・設備
要素	教育効果の向上を図る教室、演習室及び実習室等の教育研究施設及び設備等の質的かつ量的な整備をしているか。 専任教員ごとに個別の研究室を用意しているか。 図書、学術雑誌及び視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集しているか。 教育研究組織及び教育課程に応じた施設及び設備を整備し有効に活用しているか。 学生の自主的な学習を促進する学習環境を十分に整備し、学生の利用に供しているか。

## II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。  
進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. Have a multi-purpose room in Shared Facilities Building where students can have group works and discussions. 全学共用棟内にグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Organizing the multi-purpose room. 多目的室の整備状況	B	A			
2. Have a multi-purpose room at Umeda campus where students can have group works and discussions even after 10pm. 大阪梅田キャンパスに午後10時以降もグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Acquire 3 rooms that can be used after 9:30-class is finished and are open until 11pm. 午後9時30分の授業が修了後、午後11時まで使用可能な部屋を3室確保する。	D	D			
3. Improve the information systems, machines and equipment, libraries among others adapted for learning in English. (英語での教育環境を充実させるために、英語対応の情報設備・機器を整備する。)	→conduct an additional survey, or add to the current student evaluation such items as students satisfaction on the use of IBA library, PC, student assistance, other facilities. (学生の施設利用満足度調査の実施、または現在行われている学生調査に施設利用の満足度の項目を加える。)	D	C			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
上記、大阪梅田キャンパスに関する目的は無理なことが判明したので取り下げる。	→なし					
なし	→なし					

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目5.0.1	5.0.1 管理運営 (説明) すべての要素について適切に対応している。 The multipurpose room has been created to facilitate students group work and discussions. This room which is also equipped with printer and so forth is being fully utilized. 学生のグループワークやディスカッションを促進するために多目的室が設置された。プリンターなども配備されているので、十分に活用されている。
☆小項目5.0.2	5.0.2 施設・設備 (説明) すべての要素について適切に対応している。 The number of English operating PCs have been increased to meet our foreign students' need. In addition, wireless access to the system is also available to laptops in IBA building. 英語対応のPCは、外国人留学生数に見合うよう増設された。加えて、全学共用棟に無線LANが敷設された。

その他	Overall students satisfaction on other information system such as courses registration which is currently only in Japanese need to be improved as some foreign students have expressed difficulty due to their limitation of Japanese language ability. 学生満足度の点からは、たとえば、履修登録システムなどは現時点では日本語のみの対応なので、日本語運用能力に制約のある外国人留学生にとっては不便であり、こういった環境が改善される必要がある。
-----	--

《評価指標データ》

- ★ 多目的室の整備状況
- ★ 午後11時まで使用可能な部屋を3室確保
- ★ 学生の施設利用満足度調査

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	「大阪梅田キャンパスに午後10時以降もグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する」との目標は、当局との懇談の結果、無理と判明した。しかし、大阪梅田キャンパスの社会人学生の利用の利便性については向上させる必要がある。
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	大阪梅田キャンパスの授業終了後の学生の利便性の向上策については今後も検討してゆく。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

- 両小項目ともに現状の説明は不十分です。数量的データを示すなどして具体的に説明されることが望まれます。
- 各評価項目について適切に対応されていることが伺えます。ただ、各評価項目の要素が多いので、現状説明は簡潔にする必要があるとは言うものの、「適切に対応している」だけでは現状がつかめない印象です。

#### IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

審議機関として、執行部会（2週間に1回開催）、研究科長室委員会（月1回開催）、専攻会議（月1回開催）、教授会（月1回開催）が存在し、活発な議論が行われている。執行部会は必要に応じて随時開催され、緊急に対応すべき事項や将来的な対応について時間をかけて審議・懇談している。

現状の説明小項目5.0.1の「学生のグループワークやディスカッションを促進するために多目的室が設置された。プリンターなども配備されているので、十分に活用されている。」は小項目5.0.2に移動する。

★ 学生用図書については、数年に一度、教員が選書して最新の状況に近づけるようにしている。  
学生のグループワークやディスカッションのために多目的室が設けられた。日・英のパソコンと2台のプリンターが備えられたこの部屋は十分に活用されている。英語パソコンは留学生のニーズを満たすため2009年の5台から2010年夏現在37台に増加した。加えて、全学共用棟内でwifiのパソコン使用が可能である。